



# 会津果樹情報 7月号



☆梅雨明け後、高温が予想されます☆  
☆高温・乾燥対策（かん水、病害虫防除）を万全に！☆

令和7年7月24日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部  
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

## 1 気象概況及び予報

表1 月別気象表（会津若松市）

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
7	1	27.1	22.6	4.5	33.1	27.5	5.6	22.5	18.8	3.7	3.0	34.6	9	34.4	21.9	157
	2	27.9	23.1	4.8	35.0	28.0	7.0	23.6	19.3	4.3	23.0	36.1	64	30.0	21.5	140
	3	25.1	23.6	1.5	30.2	28.4	1.8	21.0	19.8	1.2	21.5	37.1	58	29.3	22.2	132
	4	28.3	24.1	4.2	34.4	29.2	5.2	22.4	20.3	2.1	0.0	33.1	0	46.2	25.2	183
平均・合計		27.1	23.4	3.8	33.2	28.3	4.9	22.4	19.6	2.8	47.5	140.9	34	139.9	90.8	154

会津若松市の令和7年7月1～4半旬の平均気温は27.1°Cで、平年より3.8°Cとかなり高くなりました。降水量は47.5mm（平年比34%）で平年よりかなり少なく、日照時間は139.9時間（平年比154%）で平年より多くなりました。

東北地方の1か月予報（仙台管区気象台、7/19～8/18）によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高い見込みです。向こう一ヶ月の日照時間は多く、降水量は平年並となる見込みです。

## 2 生育概況（7/16現在、会津若松市）

表2 各樹種の果実肥大状況（7月16日調査、暦日比較、平年は1986～2024年の平均）

樹種	りんご		かき		もも	
品種	ふじ		会津身不知		あかつき	
調査地点	会津若松市北会津町		会津若松市門田町		会津若松市高久	
分類	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
果実径 (mm)	55.1	56.0	23.4	37.0	59.7	64.5
平年比 (%)	115	108	96	120	103	109

各樹種の果実肥大は、暦日比較では平年よりやや大きい～大きいですが、満開後日数比較では平年並に推移しています（表2）。

## 3 今後の栽培管理

### (1) 樹種共通

#### ア かん水

通常は5～7日間隔で10aあたり20～30tかん水を実施しますが、乾燥が続く場合は、1回あたりのかん水量を調整し、かん水間隔を短くしましょう。

※収穫前の果実では収穫5～7日前のかん水は控えてください（糖度が低下するため）。

## イ 草刈り・マルチ

草生園においては樹と草との水分競合を防ぐため、草刈りを行いましょう。

また、刈り草や稲わらのマルチを行い、**土壌水分の保持**に努めましよう。

※地表面からの蒸発散量は、刈り草をマルチした場合、草刈りしない場合の約半分となります。

## ウ 病虫害防除

**収穫前日数には特に注意**し、使用濃度や使用回数等の農薬使用基準を十分に確認し、間隔が空きすぎないように注意して使用ましよう。

## (2) リンゴ

### ア 仕上げ摘果・修正摘果

リンゴ（ふじ）では**花芽分化期**にあります。仕上げ摘果が遅れると養分の競合から翌年に充実した花芽を確保できない恐れがありますので、仕上げ摘果が終わっていない園地では**迅速**に実施してください。

果実肥大や果形、傷害の有無等の区別がつきやすい時期なので、小玉果、変形果、病虫害被害果、サビ果を中心に修正摘果を実施し、適正着果に努めましよう。

### イ 枝吊り・支柱立て

果実肥大に伴い枝が下垂するので、樹冠内部の日当たり改善と枝折れ、傷果防止のため、支柱立てや枝吊りを実施ましよう。なお、高温条件下では、果実に直射日光が当たると日焼け果が発生しやすくなるため、果実が果そう葉で隠れるようにするなど着果位置に留意ましよう。

## (3) カキ

### ア 新梢管理

7～9月にかけて3回程度に分けて新梢管理を実施してください（一度にせん除すると日焼けや枝の二次伸長を招く恐れがあるので注意してください）。

### イ 着果管理

小果、傷果、奇形果等を中心に摘果を実施ましよう。

### ウ 高温障害対策

摘果の際は、直射日光を避けるために葉の真下に着果させてください。干ばつ時に、水源が確保できる場合は、通常は5～7日間隔で10aあたり20～30tかん水を実施まします。なお、草刈り後の刈り草や稲わらでマルチを行い、土壌水分の保持効果を高めましよう。

## (4) モモ

### ア 収穫前管理

DVRモデルによる「あかつき」の収穫期予測では、収穫開始日が平年より4日程度早い見込みです。園地ごとの成熟状況を確認して収穫期を判断ましよう。また、核障害の発生が多い場合には、核や胚に障害を持つ果実が早熟する傾向にあることに注意ましよう。

## (5) ブドウ

### ア カサ掛け (図1)

果房の日焼け防止に効果がありますので、袋掛けと一緒に実施すると良いでしょう。

※カサ掛けをすることで果面温度が3～5℃低下します。

### イ 袋掛け

袋掛けの時期の目安は「摘粒後すぐ」ですが、日中の温度が30℃を越えるような場合は、ベレーゾン期（果肉が柔らかくなる時期：シャインマスカットの露地栽培であれば、7月下旬）以降に行ってください。



図1 カサ掛け

## 4 病害虫対策

### (1) ハダニ類

福島県病害虫防除所によると、6月中下旬のハダニ類の発生ほ場割合はリンゴ、モモでは平年よりやや高くなりました（7月10日付け令和7年度病害虫防除情報）。向こう一ヶ月の気温は高い見込みであり、ハダニ類に適した条件が続くと推測されています。ハダニ類は、発生が多くなると防除が困難となるため、ほ場をよく確認し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達したら、早急に殺ダニ剤を散布しましょう。なお、ダニ剤の散布は、効果を高めるために草刈り後に実施しましょう。

### (2) カメムシ類

福島県病害虫防除所によるフェロモントラップ調査によると、会津坂下町の調査地でカメムシが平年より多く誘殺されています（7月10日付け令和7年度病害虫発生予察情報注意報）。飛来状況をよく観察し、多数の飛来がみられる場合には速やかに防除を行いましょう。

---

○令和7年度農薬危害防止運動展開中（6/10～9/10）！

○農業災害に備え、農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○クマの目撃が相次いでいます。朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

○収穫残渣は、クマが電気柵内に入ろうとするきっかけになります！

園地に放置せず、適正に処理（一か所に集めて埋める、柵で囲う等）しましょう！

